



## V コマンド

この章では、V で始まる Cisco Nexus Virtual Services Appliance コマンドについて説明します。

### virtual-service-blade

仮想サービス ブレード コンフィギュレーション モードを開始して、仮想サービスを設定するには、**virtual-service-blade** コマンドを使用します。仮想サービスの設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**virtual-service-blade** *name*

**no virtual-service-blade** *name*

#### 構文の説明

*name* ユーザ ID は 80 文字以下の英数字文字列で、大文字と小文字が区別されません。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。

#### デフォルト

なし

#### コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

#### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

#### 使用上のガイドライン

このコマンドの **no** 形式を使用すると、仮想サービス ブレード コンフィギュレーション モードは開始されません。

#### コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

#### 例

次に、仮想サービス ブレード コンフィギュレーション モードを開始して、**vsb1** という名前の仮想サービスを設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
```

```
n1010(config)# virtual-service-blade vsbl
n1010(config-vsbl-config)#
```

次に、vsbl という名前の仮想サービスの設定を削除する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no virtual-service-blade vsbl
n1010(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show virtual-service-blade</b>	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。
<b>show virtual-service-blade-type summary</b>	仮想サービス タイプと、そのタイプに属する仮想サービスに関する情報を表示します。
<b>virtual-service-blade-type name</b>	仮想サービスに追加する仮想サービスのタイプを指定します。
<b>virtual-service-blade-type new</b>	仮想サービスに追加するソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定します。

# virtual-service-blade-type name

仮想サービスに追加する仮想サービス タイプを指定するには、**virtual-service-blade-type name** コマンドを使用します。

**virtual-service-blade-type name** *type-name*

## 構文の説明

*type-name* 既存の仮想サービス タイプの名前を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

仮想サービス ブレード コンフィギュレーション (config-vsbs-config)

## サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、VSM-3 仮想サービス タイプを指定する例を示します。

```
n1010(config-vsbs-config)# virtual-service-blade-type name vsm-3
n1010(config-vsbs-config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show virtual-service-blade</b>	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。
<b>show virtual-service-blade-type summary</b>	仮想サービス タイプと、そのタイプに属する仮想サービスに関する情報を表示します。
<b>virtual-service-blade</b>	仮想サービス ブレード コンフィギュレーション モードに切り替えて、仮想サービスを設定します。
<b>virtual-service-blade-type new</b>	仮想サービスに追加するソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定します。

# virtual-service-blade-type new

仮想サービスに追加するソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定するには、**virtual-service-blade-type new** コマンドを使用します。

**virtual-service-blade-type new** *iso-file-name*

構文の説明	<i>iso-file-name</i>	bootflash リポジトリ フォルダの新しい ISO ソフトウェア イメージ ファイルの名前を指定します。
-------	----------------------	---

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	仮想サービス ブレード コンフィギュレーション (config-vsbs-config)
----------	--

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者
---------------	-----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、仮想サービスに追加するソフトウェア イメージ ファイルとして nexus-1010.4.0.4.SV1.3.51.iso を指定する例を示します。

```
n1010(config-vsbs-config)# virtual-service-blade-type new nexus-1010.4.0.4.SV1.3.51.iso
n1010(config-vsbs-config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show virtual-service-blade</b>	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。
	<b>show virtual-service-blade-type summary</b>	仮想サービス タイプと、そのタイプに属する仮想サービスに関する情報を表示します。
	<b>virtual-service-blade</b>	仮想サービス ブレード コンフィギュレーション モードに切り替えて、仮想サービスを設定します。
	<b>virtual-service-blade-type name</b>	仮想サービスに追加する仮想サービスのタイプを指定します。

# vlan

VLAN を作成して VLAN コンフィギュレーション モードを開始するには、**vlan** コマンドを使用します。VLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**vlan** *id*

**no vlan** *id*

## 構文の説明

*id* VLAN ID 番号。範囲は 1 ~ 4094 です。

## デフォルト

デフォルトの VLAN は、VLAN 1 です。

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

ダッシュを使用して VLAN の範囲を指定します (1-9 または 20-30 など)。

## 例

次に、VLAN を作成して、VLAN コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# vlan 10
n1010(config-vlan)#
```

次に、VLAN を削除する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no vlan 10
n1010(config)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>exit</b>	コンフィギュレーション モードを終了します。
<b>interface vlan</b>	インターフェイスと VLAN ID を仮想サービスに割り当てます。

